

故障かな？と思ったら

Model: GD-84D

■電源に関する異常

症状・表示	原因	対策
電源が入らない	電源スイッチが OFF になっている	電源スイッチを ON にしてください。
	電源システムの異常・瞬断	DC 24 V 電源を使用している場合は、定格電圧を供給してください。 PoE+接続を使用している場合は、PoE 電源ハブの動作および仕様が正しいことを確認してください。 無停電電源、電源ラインフィルタ、絶縁トランスなどを見直し、これらの装置を追加するなどの措置をしてください。
	本体の実装不良	DC 24 V 電源を使用している場合は、接点ユニットが正しく接続されていることを確認してください。それでも改善しない場合は、弊社営業部にご連絡ください。 PoE+接続を使用している場合は、弊社営業部にご連絡ください。
	ケーブルの異常 (断線・未接続・短絡)	本器および周辺の関連機器を含めた配線を確認してください。
異常な動作をする	突発的なサージノイズなどによる影響	電源を OFF にし、再起動してください。 頻繁にこのような症状が起こる場合は、適切なノイズ対策を実施してください。

■指示値の異常

症状	原因	対策
指示値が上がった(下がった)まま元に戻らない	センサのドリフト	ゼロ校正またはエア校正を行ってください。
	干渉ガスの存在	溶剤などの干渉ガスによる影響を完全になくすことは困難です。除去フィルタなどの対策については、弊社営業部にご連絡ください。
	スローリーク	検知対象ガスが微量に漏れている可能性があります(スローリーク)。放置しておく危険な状態になる可能性があります。ガス警報時と同等の対応をしてください。
	環境の変化	ゼロ校正またはエア校正を行ってください。 特に、ガルバニ電池式の場合は気圧の影響を受けるため、ゼロ校正またはエア校正が必要です。
ガス漏れなど、検知ポイントに異常がないのにガス警報を発する	干渉ガスの存在	溶剤などの干渉ガスによる影響を完全になくすことは困難です。除去フィルタなどの対策については、弊社営業部にご連絡ください。
	ノイズの影響	電源を OFF にし、再起動してください。 頻繁にこのような症状が起こる場合は、適切なノイズ対策を実施してください。
	環境の急変	本器は温度などの急激な環境変化により、指示警報が発報される場合があります。 環境が頻繁に急変してしまう場合は使用できません。お客様にて適切な対策を講じてください。

症状	原因	対策
応答が遅い	ダストフィルタの詰まり	ダストフィルタを交換してください。
	吸引側または排気側配管の折れや詰まり	不具合の箇所を修復してください。
	吸引側配管内で結露が発生している	不具合の箇所を修復してください。
	センサ感度の劣化	新しいセンサに交換してください。
感度校正ができない	校正ガス濃度が不適切	適切な校正ガスを用意してください。
	センサ感度の劣化	新しいセンサに交換してください。